

# 森林・林業施策の進捗について

平成 23 年度施策の実施状況と  
5ヶ年の総括評価



平成 2 4 年 9 月  
岐阜県

## 目 次

はじめに	
はじめに / 平成23年度施策の総括評価 .....	1
5ヶ年の総括評価 .....	2
施策の実施状況	
1. 健全で豊かな森林づくりの推進 .....	3
2. 林業及び木材産業の振興 .....	4
3. 人づくり及び仕組みづくりの推進 .....	6
(年表)岐阜県における森林・林業施策の実績 .....	8
総合的に実施する4つのプロジェクトの進捗状況 .....	11
1. 健全で豊かな森林づくりプロジェクト .....	11
2. 県産材流通改革プロジェクト .....	11
3. ぎふの木で家づくりプロジェクト .....	12
4. 県民協働による森林づくりプロジェクト .....	12
(年表)岐阜県における森林・林業施策の実績 .....	13
地域毎の実施状況 .....	15
資料編 岐阜県の森林・林業を取り巻く現状 .....	19

はじめに

## 基本理念

「揺るぎない長期的展望と県民協働による持続可能な森林づくり」

## 森林づくりの目指す姿

「植えて、育てる」そして「伐って、利用する」という「生きた森林づくり」

## はじめに

本県では、平成 18 年 5 月に「ありがとう 未来へつなげ 森の恵み」をテーマに、第 57 回全国植樹祭を開催し、これからの未来を担う子ども達をはじめ、林業・木材産業界の多くの皆さんと一緒に、木の国・山の国である岐阜県を全国に発信するとともに、「岐阜県森林づくり基本条例」を施行し、「揺るぎない長期的展望と県民協働による持続可能な森林づくり」を進めることを宣言いたしました。

そして、基本条例の理念を具体化するために策定した「岐阜県森林づくり基本計画」に基づき、この 5 年間は、成熟する県内の森林資源を有効に活用し、循環型社会を築くための「生きた森林づくり」に取り組み、これまでの「植えて、育てる」林業から、「伐って、利用する」林業への転換を図ってまいりました。

一方、国では、国産材自給率を 50%へ倍増するため、「森林・林業再生プラン」を示し、法制面では、公共施設の木造化を進める法律の制定、今後の森林経営の根幹となる森林経営計画制度を推進する森林法の改正、予算面では、搬出間伐の義務化や森林整備加速化・林業再生事業の延長等、次々施策が講じられています。

これらは、岐阜県が進めてきた「生きた森林づくり」の国版とも言えるものであり、日本の林業全体が大きな転換期を迎えていると言えます。

## 平成 23 年度施策の総括評価

森の合板工場の 4 月からの本格稼働に伴い、間伐を強化し、県産材の安定供給を図りました。また、東日本大震災により全国の合板生産量の 4 分の 1 を担う工場が被災したことから、森の合板工場はフル稼働し、震災復興に必要な合板の供給に貢献しました。

揖斐地域において、木質チップ・ペレット製造施設（H21～H22）と温浴施設への木質ペレットボイラーの導入（H22～H23）が整備され、木質バイオマスの地産地消モデルが構築されました。

約 270km の路網整備、8 台の高性能林業機械等の導入により、木材生産の基盤を整備するとともに、施業プランナーを 18 人、高性能林業機械のオペレーターを 7 人新たに養成する等、「低コスト林業」の普及に向け、ソフト・ハードの両面から支援しました。

5 月に「全国植樹祭 5 周年記念大会」を下呂市において開催し、これまでの「生きた森林づくり」の成果を振り返るとともに、今後の森林づくりを考える機会としました。7 月には民間企業や NPO 等により「恵みの森づくりコンソーシアム」が設立され、森林を活用した新たなビジネスづくりの取り組みが始まりました。

## 5 ヶ年の総括評価

平成 19 年度からの 5 年間、主にスギやヒノキの人工林を対象に、森林の健全性を高め、林業としての自立性を高める「生きた森林づくり」に重点的に取り組んできました。

具体的には、森林の機能に応じた施業を進めるとともに、利用期を迎えつつある人工林を活かすため、施業の集約化や路網の整備を図りながら搬出間伐等を推進しました。

また、間伐材等の山土場から製材工場への直送体制や、大型の製材工場、合板工場、木質バイオマス施設等の整備を進め、品質・性能の確かな製品を安定的に供給する流通・加工体制を構築するとともに、住宅や公共施設等への県産材利用の普及に取り組み、木材の生産から加工、消費に至る新たな流れを作っていました。

特に、効率的かつ安定的な林業経営を進めるため、「健全で豊かな森林づくりプロジェクト」として、500ha 程度のモデル団地を設定し、欧州の先進事例を参考に、高性能林業機械や高密度路網等を組み合わせた低コスト林業の普及や、施業プランナー等の人材育成に努めてきました。

また、「県産材流通改革プロジェクト」により、これまで利用の少なかった B 材（曲がり材・短尺材）を年間 10 万 m<sup>3</sup>消費する合板工場を整備し、県産材を安定供給してきました。内陸型の合板工場の稼働は、県内のみならず国内の林業に大きなインパクトを与え、今後も森林資源立地型の工場立地が進むことが期待されます。

さらに、「ぎふの木で家づくりプロジェクト」における県産材住宅を建設する施主への直接助成制度は、県内の市町村でも同様の制度が創設され相乗効果が発揮される等、県産材の需要拡大に大きな役割を果たしてきました。

しかしながら、これまでの取り組みにより、B 材の需要が拡大しているのに対し、県内製材工場の加工体制の脆弱さから、A 材（直材）の加工・供給が減少しているといった課題があります。また、施業を集約化し、路網の整備と高性能林業機械を組み合わせた「低コスト林業」は、県内各地で徐々に定着しつつありますが、県全体への普及は不十分で、木材の供給も不安定な状態です。

一方、環境分野では、里山における鳥獣害対策や水源地の保全、生物多様性の確保等、県民の環境保全への意識は大いに高まっていますが、環境保全のための森林整備は、企業による森林整備等の活動も各地で行われているものの、まだまだ十分ではなく、県民ニーズとの間にギャップがあります。

さらに、災害防止分野では、間伐や治山事業により「災害に強い森林づくり」が進んでいますが、近年の異常気象による豪雨の頻発や震災等、自然災害に対する更なる対応が必要です。また、既存の治山施設については、定期的な施設点検及び補修を行い、効果的に機能を発揮するよう維持していく必要があります。

# 1. 健全で豊かな森林づくりの推進

## 【間伐】

表 - 1 間伐の実施面積

(単位：ha)

年度	H17(計画時)	H19	H20	H21	H22	H23	5ヶ年計	目標(H23)
目標	12,800	15,200	15,500	15,700	14,000	14,000	74,400	14,800
実績	12,971	14,559	14,428	14,373	14,284	11,895	69,539	-

年度別目標値は「新緊急間伐推進五ヵ年計画（H17～H21）」、「岐阜県間伐推進加速化計画（H22～H26）」に基づく

### (H23年度の実施状況)

国の制度改正により間伐の補助金が搬出間伐に重点化されたこと、県としても搬出間伐への転換を進めていることなどから、伐り捨て間伐の面積が減り、民有林人工林における間伐面積は11,895haと計画量を下回りました。



補助事業による間伐実施林

### (5ヶ年の総括評価)

主に機能が低下し緊急に間伐が必要な森林を対象に、概ね計画どおりの間伐を実施してきました。今後も、岐阜県間伐推進加速化計画に基づき、木材生産を目的とする森林においては、切り捨て間伐から搬出間伐への移行を促進するとともに、重要な水源林や溪畔林、奥山林など環境保全を目的とする森林では、切り捨て間伐による針広混交林化の促進等、間伐の着実な推進による災害に強い森林づくりが求められています。

## 【治山】

表 - 2 山地災害危険地区における「治山工事」着手率

(単位：%)

年度	H17(計画時)	H19	H20	H21	H22	H23	目標(H23)
実績	60.4	61.0	61.9	62.6	63.3	63.7	63.7

### (H23年度の実施状況)

8月、9月に発生した山地災害箇所等の復旧や、山地災害危険地区のうち、崩壊危険度が高く生活への影響が高い176箇所において治山事業を実施しました。また、既存の治山施設3,052施設の点検を行いました。



保育園を保全する治山事業

### (5ヶ年の総括評価)

山地災害等を予防する「治山事業」は計画どおり進捗しています。しかしながら、山地災害地区の指定数が6,535箇所もあるため、着手率は63.7%にとどまっており、工事すべき箇所はまだ多いのが現状です。また、近年、短期的・局地的豪雨等による自然災害が発生しており、災害発生後の早急な対応が求められています。

【森林被害】

表 - 3 森林被害実損面積

(単位: ha)

年度	H18	H19	H20	H21	H22	H23
松くい虫被害	1,180	57	31	32	35	14
カシノナガキクイムシ被害	84	48	31	94	160	75
ツノグマ皮剥被害	115	371	54	112	23	20

(H23年度の実施状況)

松くい虫被害拡大防止のため、伐倒駆除や薬剤の樹幹注入等の防除事業を 283m<sup>3</sup>実施しました。また、カシノナガキクイムシ対策として、粘着剤塗布を 415 本、駆除事業等を 283m<sup>3</sup>実施しました。

平成 23 年度の森林被害面積は、例年と比べると減少しています。



カシノナガキクイムシによるナラ枯れ被害

(5ヶ年の総括評価)

カシノナガキクイムシ、クマ、シカ等による被害地域が拡大しています。駆除事業や予防事業、研修会等を行ってきましたが、その効果には限界があるため、抜本的な対策が求められています。また、人と野生生物との軋轢が増していることから、野生生物の適正な保護管理が必要です。

## 2 . 林業及び木材産業の振興

【木材生産・基盤整備】

表 - 4 「素材(丸太)」の生産量

(単位: 万m<sup>3</sup>)

年度	H17(計画時)	H19	H20	H21	H22	H23	目標(H23)
実績	31	31	30	31	33	33	40

表 - 5 路網密度

(単位: m/ha)

年度	H17(計画時)	H19	H20	H21	H22	H23	目標(H23)
実績	19.5	19.9	20.1	20.4	20.8	21.2	20.2

表 - 6 高性能林業機械導入台数

(単位: 台数)

年度	H17(計画時)	H19	H20	H21	H22	H23	目標(H23)
実績	72	87	100	117	129	135	95

表 - 7 素材生産費

(単位: 円/m<sup>2</sup>)

年度	H17(計画時)	H19	H20	H21	H22	H23	目標(H23)
実績	15,700	11,725	11,360	11,369	11,585	11,508	11,500

### ( H 2 3 年度の実施状況 )

約 270km の路網整備、8 台の高性能林業機械等の導入により、効率的に森林施業を行うための生産基盤の整備に努めました。また、施業プランナーを 18 人、高性能林業機械のオペレーターを新たに 7 人養成しました。



高性能林業機械による木材生産

### ( 5 ケ年の総括評価 )

木材生産の基盤となる路網整備は、5 年間で 938km、単年度平均では、計画時(H17)の 3 倍にあたる 188km / 年を整備した結果、路網密度は 21.2m / ha まで高まり、また、高性能林業機械は、目標の 23 台を大幅に上回る 63 台が 5 年間で増加する等、効率的な森林整備や木材生産を行うための基盤は急速に整備され、素材生産費の削減は進み、素材生産量も微増しました。

山元への利益還元による持続可能な森林経営を推進するため、施業の集約化や路網の整備と高性能林業機械を組み合わせた「低コスト林業」のより一層の推進が必要です。

### 【県産材の利用】

表 - 8 県産材住宅の建設戸数

( 単位 : 戸 )

年度	H17(計画時)	H19	H20	H21	H22	H23	目標(H23)
実績	1,500	1,440	1,330	1,305	1,339	1,236	1,800

表 - 9 県営工事における県産材利用量

( 単位 : m<sup>3</sup> )

年度	H17(計画時)	H19	H20	H21	H22	H23	目標(H23)
実績	2,800	2,627	2,681	2,383	2,050	1,812	4,000

### ( H 2 3 年度の実施状況 )

県産材を使用した住宅を建築する施主への助成(新築:160棟、内装木質化:73棟)や、県産材の良さを広く普及させるため、教育・福祉関連公共施設 16 施設の木造化、内装木質化に対して助成しました。



県産材を使った施設

### ( 5 ケ年の総括評価 )

県産材を使用した住宅への助成を行っていますが、長引く経済不況の影響で新築住宅着工戸数が大幅に減少する中、県産材住宅の建築戸数も 1,300 戸前後で推移しております。しかしながら、H23 と H17 を比較すると、県内の新築住宅着工戸数の減少幅が 23.9%であるのに対し、県産材住宅は 17.6%と健闘しています。

同様に公共事業の予算が減少する中、県営工事における県産材利用量も低迷していますが、公共建築物木材利用促進法も施行されたことから、今後とも、住宅や公共建築物における県産材の利用を促進する必要があります。

## 【木質バイオマスの利用】

表 - 10 木質バイオマス活用施設数

(単位：施設数)

年度	H17(計画時)	H19	H20	H21	H22	H23	目標(H23)
実績	2	4	4	4	5	5	5

木質バイオマス活用施設は、平均年間処理量 1.5 万トン以上の施設

### (H23年度の実施状況)

「バイオマスタウン構想」を策定している揖斐川町内の温浴施設 3 箇所へ木質ペレットボイラー 3 基を導入しました(H22~23)。平成 22 年度に整備された「いび森林資源活用センター協同組合」が年間 625 トンのペレットを供給していく計画です。



木質バイオマス利用施設

### (5ヶ年の総括評価)

平成 21 年度から 23 年度にかけて、揖斐地域において木質チップ・ペレット製造施設の整備や、温浴施設への木質ペレットボイラーの導入が行われ、地産地消型の木質バイオマス活用モデルが構築されました。

揖斐地域をモデルに、県内各地で地産地消型の地域エネルギーを活用した仕組みを構築するため、今後も施設整備を促進するとともに、地域ぐるみで未利用材を搬出・利用する仕組みづくりが必要です。

## 3 . 人づくり及び仕組みづくりの推進

### 【森林環境教育の推進】

表 - 11 緑と水の子ども会議の実施校数

(単位：校)

年度	H17(計画時)	H19	H20	H21	H22	H23	目標(H23)
実績	50	68	80	90	101	112	75

### (H23年度の実施状況)

「緑と水の子ども会議」を小・中学校、高等学校、特別支援学校、計 63 校において行いました。木育教室を保育園・幼稚園等において 29 回開催しました。岐阜県立森林文化アカデミーにおいて「生涯学習講座」を 17 回開催しました。企業による出前講座を小・中学校等延べ 30 校で実施しました。



緑と水の子ども会議

### (5ヶ年の総括評価)

平成 21 年度に「緑の子ども会議」を拡充し、水の学習も取り入れた「緑と水の子ども会議」を開催してきた結果、目標の 75 校を大きく上回る 112 校で実施することができました。

県立森林文化アカデミーにおいて、「生涯学習講座」を開催し、3,000 人(延べ)を超える県民が受講されました。

この他にも、木育講座、企業による出前講座等、様々な機会を通じて木育・森林環境教育を進めてきましたが、今後は、行政や各種団体による取り組みに一貫性を持たせる必要があります。

## 【森林技術者】

表 - 1 2 森林技術者数

(単位：人)

年度	H17(計画時)	H19	H20	H21	H22	H23	目標(H23)
実績 (新規就業)	1,143 (62)	1,145 (75)	1,156 (94)	1,162 (87)	1,166 (101)	1,161 (61)	1,350

### ( H 2 3 年度の実施状況 )

「緑の担い手参入研修」を2回開催し、10人の研修終了者のうち3人が県内の林業事業体に就職しました。農林系高等学校の生徒222人を対象とした「林業体験活動」、林業に興味がある青少年5人を対象とした「青少年山しごと体験塾」、就業相談会への参加等、新たな森林技術者確保のための取り組みを行いました。



青少年山しごと体験塾

### ( 5 ケ年の総括評価 )

平成19年度以降、新規就業者数も森林技術者数も増加傾向にありましたが、必要数には不足しており、特に新たな木材需要に対応するための人材確保が急務となっています。

また、森林組合等の林業事業体職員を対象に、今後の森林経営の核となる森林経営計画の作成を担う「施業プランナー」を養成してきましたが、まだまだ少ないことから、引き続き、技術レベルに応じたきめ細かな研修が必要です。

## 【仕組みづくり】

表 - 1 3 地域が主体となった森林づくり組織（市町村森林管理委員会）の設置市町村数

年度	H17(計画時)	H19	H20	H21	H22	H23	目標(H23)
実績	2	12	18	20	23	27	34

### ( H 2 3 年度の実施状況 )

新たに4つの市町村において「市町村森林管理委員会」が設立されました。その結果、「市町村森林管理委員会」のある市町村の森林面積は、県の森林面積863千haのうち97%をカバーする840千haとなりました。



土岐市森林づくり会議

### ( 5 ケ年の総括評価 )

都市部の市町村では、「市町村森林管理委員会」の設立についての理解が得られず、森林を有する34市町村のうち、27市町村での設置となりました。また、「市町村森林管理委員会」を設置している市町村でも、その位置づけがはっきりせず、単に行政への意見の場にとどまっているところがあります。今後は、新たな森林計画制度の下で策定される市町村森林整備計画が、その地域の森林に関するマスタープランとして機能するよう、市町村森林管理委員会が地域の調整役や合意形成の場等、実質的な機能を果たすことが求められています。

岐阜県における森林・林業施策の実績（平成19年度～平成23年度）

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	コメント
健全で豊かな森林づくりの推進	<p>災害に強い森林づくりの推進</p> <p>「岐阜県新築急用伐推進五カ年計画（H17～21）」に基づく間伐の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>間伐実施面積 14,559ha</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>間伐実施面積 14,428ha</li> </ul> <p>【「災害に強い森林づくり」に向けた新たな森林整備の考え方】の策定</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>間伐実施面積 14,373ha</li> </ul> <p>【「岐阜県間伐推進加速化計画（H22～26）」に基づく間伐の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>間伐実施面積 14,264ha</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>間伐実施面積 11,895ha</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>間伐実施面積：延べ69,539ha</li> <li>「地域森林計画」「市町村森林整備計画」へ反映</li> </ul>	
林内路網の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>林道 16,089m、作業道（総）101,523m</li> <li>林内路網密度（19.9m/ha）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>林道 16,257m、作業道（総）120,014m</li> <li>林内路網密度（20.1m/ha）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>林道 16,910m、作業道（総）175,042m</li> <li>林内路網密度（20.4m/ha）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>林道 12,210m、作業道（総）213,376m</li> <li>林内路網密度（20.8m/ha）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>林道 7,323m、作業道（総）259,610m</li> <li>林内路網密度（21.2m/ha）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>林道 68,788m、作業道（総）869,567m</li> <li>林内路網密度（21.2m/ha）</li> </ul>
治山事業の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>山地災害危険地区治山工事着手率 61.0%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>山地災害危険地区治山工事着手率 61.9%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>山地災害危険地区治山工事着手率 62.6%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>山地災害危険地区治山工事着手率 63.3%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>山地災害危険地区治山工事着手率 63.7%</li> </ul>	
森林の適正な保全	<p>「森林ハートル」の実施</p>			<p>【魚つき保安林】の指定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>魚つき保安林を関市で指定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>魚つき保安林を下呂市で指定</li> </ul>	
クマやシカによる反割被害対策の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>予防テープ巻き、防護網設置等の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>予防テープ巻き、防護網設置等の実施</li> <li>「クマハギ防止対策の手引き」の作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>予防テープ巻き、防護網設置等の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>予防テープ巻き、防護網設置等の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>予防テープ巻き、防護網設置等の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>予防テープ巻きを2,578ha実施</li> <li>防護網を2,285m設置</li> </ul>
カシノナガキクイムシ対策の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>竹枯れにおける抵抗性機構の解明及び被害拡大防止手法の開発（H19～21）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>竹枯れにおける抵抗性機構の解明及び被害拡大防止手法の開発（H19～21）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>竹枯れにおける抵抗性機構の解明及び被害拡大防止手法の開発（H19～21）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境にやさしい竹/カシノナガキクイムシの防除技術の開発（H22～24）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境にやさしい竹/カシノナガキクイムシの防除技術の開発（H22～24）</li> </ul>	
森林空間の利用の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>里山の保全・利用の促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>里山整備の指針「里山整備の進め方」を作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>里山保全利用技術研修を開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>里山保全利用技術研修を開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>里山整備研修を開催</li> <li>「里みの森づくりコンクール」を設立</li> </ul>	

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	コメント	
林業及び木材産業の振興	<p><b>物理的な森林施業の実施</b></p> <p><b>高性能林業機械の導入</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・15台増加</li> </ul> <p>林内路網の整備【再掲】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・林道16,089m、作業道(路)101,523m</li> <li>・林内路網密度(19.9m/ha)</li> </ul> <p>県産材の利用の拡大</p> <p>製材加工施設の整備(人材対策)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新生産がはらにより各務原市及び高山市で4材約4万㎡を使用する製材加工施設を整備</li> </ul> <p>「岐阜県証明材推進制度」の創設</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・13台増加</li> <li>・林道16,257m、作業道(路)120,014m</li> <li>・林内路網密度(20.1m/ha)</li> </ul> <p>木材乾燥施設の1箇所整備</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・17台増加</li> <li>・林道16,910m、作業道(路)175,042m</li> <li>・林内路網密度(20.4m/ha)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・12台増加</li> <li>・林道12,210m、作業道(路)213,378m</li> <li>・林内路網密度(20.8m/ha)</li> </ul> <p>木材乾燥施設を3箇所整備</p> <p>木材加工施設を7箇所整備</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6台増加</li> <li>・林道7,323m、作業道(路)259,610m</li> <li>・林内路網密度(21.2m/ha)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・木材乾燥施設を7箇所整備</li> <li>・木材加工施設を8箇所整備</li> </ul> <p>「岐阜県証明材」は木材生産量の86%</p> <p>「高性能表示材」出荷実績</p> <p>H23年度7,719㎡</p> <p>中津川市加子母地内で、日材約10万㎡を使用する内陸型の合板工場を整備(H23.4～本格稼働)</p> <p>原木を効率的に集約するストックポイント等を11箇所整備</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・岐阜県木造住宅「バグ」の養成</li> <li>・205人養成</li> <li>・「バグ」を11回開催(延べ346社参加)</li> <li>・ぎふの木で家づくり支援事業1,053棟</li> <li>・ぎふの木で環境金利支援事業38棟</li> <li>・ぎふの木で内装木質化支援事業287棟(新築タイプ)、37棟(増改築タイプ)</li> <li>・教育・福祉関連60施設を木造化・内装木質化</li> </ul>
	<p>合板工場の整備(人材対策)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・セイホク(株)と中津川市内に合板工場を立地する協定を締結</li> <li>・工事起工式</li> </ul> <p>流通コストの低コスト化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県森運による「システム販売」の推進</li> </ul> <p>「岐阜県木造住宅「バグ」の養成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・38人認定</li> </ul> <p>「ビジネスミーティング」の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2回開催(80社参加)</li> </ul> <p>「ぎふの木で家づくり支援事業」の開始</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「森の合板協同組合」を設立</li> <li>・工場起工式</li> </ul> <p>県森運による「システム販売」の推進</p> <p>ストックポイント等を1箇所整備</p> <p>「木材需給コーディネーター」の養成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・37人認定</li> </ul> <p>2回開催(72社参加)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工場完成</li> <li>・県森運による「システム販売」の推進</li> <li>・ストックポイント等を5箇所整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工場完成</li> <li>・県森運による「システム販売」の推進</li> <li>・ストックポイント等を5箇所整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本格稼働開始</li> <li>・県森運による「システム販売」の推進</li> <li>・ストックポイント等を5箇所整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・29人認定</li> <li>・2回開催(59社参加)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「高性能表示材推進制度」の創設</li> <li>・「ぎふ性能表示材認定センター」の設立</li> </ul>
	<p>森林資源の有効利用の促進</p> <p>木質バイオマス利用の促進(C・D材対策)</p>	<p>「岐阜県木造住宅「バグ」の養成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・35人認定</li> </ul> <p>3回開催(69社参加)</p> <p>「ぎふの木で環境金利支援事業」の開始</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育・福祉関連6施設を木造化・内装木質化</li> </ul>	<p>「岐阜県木造住宅「バグ」の養成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・37人認定</li> </ul> <p>2回開催(72社参加)</p> <p>「ぎふの木で内装木質化支援事業」の開始</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育・福祉関連10施設を木造化・内装木質化</li> </ul> <p>「公共施設等における県産材利用促進方針」の一新改正</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育・福祉関連17施設を木造化・内装木質化</li> <li>・「公共施設等における県産材利用促進方針」の一新改正</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育・福祉関連16施設を木造化・内装木質化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・木質バイオマス活用施設を5施設整備</li> <li>・温浴施設に木質ペレットストーブを導入(久瀬、藤橋)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「岐阜県木造住宅「バグ」の養成</li> <li>・29人認定</li> <li>・2回開催(59社参加)</li> <li>・「ぎふの木で環境金利支援事業」の開始</li> <li>・「ぎふの木で内装木質化支援事業」の開始</li> <li>・教育・福祉関連16施設を木造化・内装木質化</li> <li>・「公共施設等における県産材利用促進方針」の一新改正</li> <li>・木質バイオマス活用施設を5施設整備</li> <li>・温浴施設に木質ペレットストーブを導入(久瀬、藤橋)</li> <li>・「業務の里」が認証を県内で初めて取得</li> </ul>

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	コメント
人づくり及び取り組みの推進	<p>森林環境教育の推進</p> <p>「緑と水の子ども会館」の築造</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>延べ68校で実施</li> </ul>	<p>(株)IMAXとの間で森林環境教育の推進に関する協定を締結</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>延べ80校で実施</li> </ul> <p>「木育教室」の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「木育推進員」を5名委嘱</li> <li>木育教室「木育のいっしょ」を作成</li> </ul>	<p>77ビル(株)との間で森林環境教育の推進に関する協定を締結</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>延べ90校で実施</li> </ul> <p>木育教室を18回開催</p>	<p>延べ101校で実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>木育教室を21回開催</li> </ul>	<p>延べ112校で実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>木育教室を21回開催</li> </ul>	<p>延べ112の小・中学校、高等学校、特別支援学校で実施</p> <p>木育教室を保育園・幼稚園等で延べ80回開催</p>
市民との協働による森林づくりの推進	<p>「森林技術者」の育成・確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>森林技術者数1,145人(うち新規75人)</li> </ul> <p>「高技能林業機械オペレーター」の養成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>10人養成</li> </ul>	<p>森林技術者数1,156人(うち新規94人)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>6人養成</li> <li>「施業プランナー」の養成</li> <li>14人養成</li> </ul>	<p>森林技術者数1,162人(うち新規87人)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>3人養成</li> <li>15人養成</li> </ul>	<p>森林技術者数1,166人(うち新規101人)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>6人養成</li> <li>16人養成</li> </ul>	<p>森林技術者数1,161人(うち新規61人)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>7人養成</li> <li>18人養成</li> <li>「准オペレーター」の養成</li> <li>15人養成</li> <li>「岐阜県森林・林業担い手育成協会」の策定</li> </ul>	<p>高技能林業機械オペレーターを32人養成</p> <p>施業プランナーを83人養成</p> <p>准オペレーターを15人養成</p>
県民との協働による森林づくりの推進	<p>ぎふ山の日及びぎふの山に親しむ月間の普及</p> <p>「岐阜県みどりの祭り」を開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「第37回岐阜県みどりの祭り」を岐阜市で開催</li> </ul> <p>「ぎふ山の日フェスタ」の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「第2回ぎふ山の日フェスタ」を美濃市で開催</li> </ul> <p>「森と木とのふれあいフェア」の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>企業との協働による森林づくり活動</li> <li>4の企業等と協定締結</li> </ul>	<p>「第38回岐阜県みどりの祭り」を大垣市で開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「第3回ぎふ山の日フェスタ」を美濃市で開催</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>4の企業等と協定締結</li> </ul>	<p>「第39回岐阜県みどりの祭り」を郡上市で開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「第4回ぎふ山の日フェスタ」を美濃市で開催</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>3の企業等と協定締結</li> </ul>	<p>「第40回岐阜県みどりの祭り」を土岐市で開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「第5回岐阜県樹林5周年記念大会」を下呂市で開催</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>2の企業等と協定締結</li> </ul>	<p>「第51回岐阜県樹林5周年記念大会」を下呂市で開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「ぎふ山の日フェスタ2011」を岐阜市で開催</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>2の企業等と協定締結</li> </ul>	<p>15の企業等と協定締結</p> <p>「市町村森林管理委員会」が27市町村で設置された(民有林カバー率は97%)</p>
<参考> 国の動き	<p>「生物多様性基本法」が施行</p>	<p>「森林・林業再生プラン」の策定</p> <p>「森林蓄積加算・林業再生基金事業」の開始</p>	<p>「公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律」が施行</p> <p>「生物の多様性に関する条約の締結」</p> <p>全議(COP10)の開催</p>	<p>「森林法」の一部改正</p>		

## 1. 健全で豊かな森林づくりプロジェクト

### 環境保全と効率的な木材生産の両立を目指すモデル団地の形成

#### (H23年度の実施状況)

林業先進国ドイツから、林業経営の専門家であるフォレスターと道づくりの第一線で活躍するオペレーターを講師に迎え、「将来に残す木」の選び方や排水機能等に優れた「欧州型の道づくり」などを習得するための実地研修を行いました。



フォレスター研修

#### (5ヶ年の総括評価)

県下15のモデル団地で事業を実施し、5年間で、施業集約化面積5千ha、作業道開設126km、木材生産量73千 $m^3$ の実績を上げました。

プロジェクトにおける実践的な研修の受講者は、延べ1,783人にのぼり、取り組んだ事業者の自主性・主体性は醸成されましたが、「森プロ」の効果が一定の地域にとどまっていることから、全県的に波及させていく必要があります。



高性能林業機械による木材生産

## 2. 県産材流通改革プロジェクト

### 未利用木材資源の利用拡大と用途に応じた流通の合理化

#### (H23年度の実施状況)

A材の加工体制を強化するための「A材加工戦略プラン」を策定しました。



森の合板工場の製品

#### (5ヶ年の総括評価)

A材約4万 $m^3$ を使用する製材工場、B材約10万 $m^3$ を使用する合板工場、C材約8千 $m^3$ をペレットに加工する施設など、県産材の品質に応じた加工体制が整備されました。また、原木を山土場等で仕分けし、各加工施設への直送化を進めた結果、木材生産量33万 $m^3$ の約4割が直送システム等により納入されています。

産地・合法性を証明する「岐阜証明材推進制度」に加え、乾燥度合いや強度など製材品の品質・性能を証明する「ぎふ性能表示材推進制度」を創設しました。

長期優良住宅など高品質な住宅や集成材の普及が進む中、製材品にも品質・性能の確保が求められており、A材の加工体制のより一層の強化が必要です。



木質バイオマス利用施設

### 3 . ぎふの木で家づくりプロジェクト

#### 県産材を使用したいと思う消費者と工務店等の拡大による県産材住宅の建設促進

##### ( H 2 3 年度の実施状況 )

「ぎふの木で家づくり支援事業」には 160 棟の応募、「ぎふの木で内装木質化支援事業」には 73 棟の応募がありました。

岐阜県木造住宅アドバイザーとして 29 人養成・認定し、合計 205 人となりました。



##### ( 5 ヶ年の総括評価 )

県産材住宅を建設した施主への直接助成制度の創設や、県民に対して県産材を使用した家づくりが提案できる建築士を木造住宅アドバイザーとして養成・認定することなどにより、県産材に対する県民の認知度は高まり、利用する工務店・建築士の裾野は着実に拡大しています。特に、県産材住宅への助成制度は県内市町村でも同様の制度が創設され、相乗効果を発揮しています。

東日本大震災の発生により、耐震性や省エネ性に対する消費者の関心はより一層高まるものと考えられ、こうした需要の変化に対応できる工務店の育成が必要です。



県産材を使用した住宅

### 4 . 県民協働による森林づくりプロジェクト

#### 社会全体で森林づくりを支える県民運動の展開と地域推進体制の構築

##### ( H 2 3 年度の実施状況 )

春に「全国植樹祭 5 周年記念大会」( 5/21 ) を、夏には「ぎふ山の日フェスタ 2011」( 8/7 ) を、秋には「森と木とのふれあいフェア 2011」( 10/22・23 ) を開催しました。

新たに 2 社と生きた森林づくり協定が締結され、県下各地で企業の森林づくり活動の輪が広がりました。



全国植樹祭 5 周年記念大会

##### ( 5 ヶ年の総括評価 )

「緑と水の子ども会議」等に取り組む教育機関が増え、教育の場での木育・森林環境教育の必要性の認識が深まりました。

企業の CSR 活動への参加意欲が高まっており、森林づくりに参加しようとする企業が増えていますが、今後とも継続性のある取り組みとするためには、企業の要望にあった活動場所の提供と候補地の充実、地元の受け入れ体制等が必要です。

各種イベントを開催し、参加団体も増加してきましたが、テーマや内容の一貫性に欠けていることが課題です。



ぎふ山の日フェスタ 2011

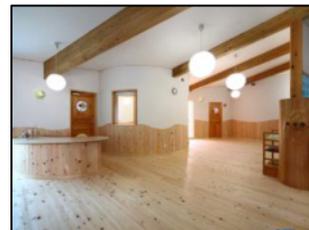
岐阜県における森林・林業施策の実績（平成19年度～平成23年度）

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	コメント
健全で豊かな森林づくりプロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> <li>「健全で豊かな森林づくりプロジェクト」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>8団地で実施（うち新規3団地）</li> <li>施業集約化面積 627ha</li> <li>木材生産量 12,938m<sup>3</sup></li> <li>作業道開設延長 21,998m</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>12団地で実施（うち新規4団地）</li> <li>施業集約化面積 656ha</li> <li>木材生産量 16,915m<sup>3</sup></li> <li>作業道開設延長 29,564m</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>15団地で実施（うち新規3団地）</li> <li>施業集約化面積 1,022ha</li> <li>木材生産量 18,443m<sup>3</sup></li> <li>作業道開設延長 30,259m</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>15団地で実施</li> <li>施業集約化面積 779ha</li> <li>木材生産量 19,085m<sup>3</sup></li> <li>作業道開設延長 34,177m</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>15団地で実施</li> <li>施業集約化面積 4,639ha</li> <li>木材生産量 72,885m<sup>3</sup></li> <li>作業道開設延長 126,446m</li> </ul>
プロジェク実施者に対する研修会	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修会の開催（9日間、延べ348人）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修会の開催（9日間、延べ348人）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修会の開催（10日間、延べ384人）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修会の開催（10日間、延べ384人）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修会の開催（5日間、延べ40人）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修会の開催（5日間、延べ40人）</li> </ul>
高性能林業機械の導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>15台増加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>13台増加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>17台増加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>12台増加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>6台増加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>63台増加（延べ135台導入）</li> </ul>
林内路網の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>林道 16,089m、作業道(総)101,523m</li> <li>林内路網密度 (19.9m/ha)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>林道 16,257m、作業道(総)120,014m</li> <li>林内路網密度 (20.1m/ha)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>林道 16,910m、作業道(総)175,042m</li> <li>林内路網密度 (20.4m/ha)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>林道 12,210m、作業道(総)213,378m</li> <li>林内路網密度 (20.8m/ha)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>林道 7,323m、作業道(総)259,610m</li> <li>林内路網密度 (21.2m/ha)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>林道 68,788m、作業道(総)869,567m</li> <li>林内路網密度 (21.2m/ha)</li> </ul>
製材加工施設の整備（A材対策）	<ul style="list-style-type: none"> <li>製材加工施設の整備（A材対策）</li> <li>新生産材(A)により各務原市及び高山市でA材約4万m<sup>3</sup>を使用する製材加工施設を整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>木材乾燥施設を1箇所整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>木材乾燥施設を3箇所整備</li> <li>木材加工施設を7箇所整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>木材乾燥施設を3箇所整備</li> <li>木材加工施設を7箇所整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「A材加工戦略プラン」を策定</li> <li>木材乾燥施設を3箇所整備</li> <li>木材加工施設を1箇所整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「岐阜証明材」は木材生産量の86%</li> <li>「ぎふ性能表示材」出荷実績</li> <li>H23年度 7,719m<sup>3</sup></li> <li>中津川市加子母地内において、日材約10万m<sup>3</sup>を使用する内陸型の合板工場を整備（H23.4～本格稼働）</li> </ul>
岐阜証明材推進制度」の創設	<ul style="list-style-type: none"> <li>「岐阜証明材推進制度」の創設</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「ぎふ性能表示材認証センター」の設立</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「岐阜証明材推進制度」の創設</li> <li>「ぎふ性能表示材認証センター」の設立</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「岐阜証明材推進制度」の創設</li> <li>「ぎふ性能表示材認証センター」の設立</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「岐阜証明材推進制度」の創設</li> <li>「ぎふ性能表示材認証センター」の設立</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「岐阜証明材推進制度」の創設</li> <li>「ぎふ性能表示材認証センター」の設立</li> </ul>
合板工場の整備（B材対策）	<ul style="list-style-type: none"> <li>合板工場の整備（B材対策）</li> <li>セイホク（株）と中津川市内に合板工場を立地する協定を締結</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「森の合板協同組合」を設立</li> <li>工場起工式</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「合板用原木供給調整金機」を設置</li> <li>木材加工施設を1箇所整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>工場完成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本格稼働開始</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本格稼働開始</li> </ul>
木質バイオ利用の促進（C・D材対策）	<ul style="list-style-type: none"> <li>木質バイオ利用の促進（C・D材対策）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「岐阜地域における木質バイオマスの地産地消システム」の構築</li> <li>「いびい森林資源活用むかひ同組合」を設立</li> <li>チップ・ペレット施設の整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「岐阜地域における木質バイオマスの地産地消システム」の構築</li> <li>「いびい森林資源活用むかひ同組合」を設立</li> <li>チップ・ペレット施設の整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「岐阜地域における木質バイオマスの地産地消システム」の構築</li> <li>「いびい森林資源活用むかひ同組合」を設立</li> <li>チップ・ペレット施設の整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「岐阜地域における木質バイオマスの地産地消システム」の構築</li> <li>「いびい森林資源活用むかひ同組合」を設立</li> <li>チップ・ペレット施設の整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「岐阜地域における木質バイオマスの地産地消システム」の構築</li> <li>「いびい森林資源活用むかひ同組合」を設立</li> <li>チップ・ペレット施設の整備</li> </ul>
流通コストの低コスト化	<ul style="list-style-type: none"> <li>流通コストの低コスト化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>県森運による「システム販売」の推進</li> <li>ストックポイントを1箇所整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>県森運による「システム販売」の推進</li> <li>ストックポイントを1箇所整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>県森運による「システム販売」の推進</li> <li>ストックポイント等を5箇所整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>県森運による「システム販売」の推進</li> <li>ストックポイント等を5箇所整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>県森運による「システム販売」の推進</li> <li>ストックポイント等を5箇所整備</li> </ul>
原木を効率的に集積するストックポイント等を11箇所整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>原木を効率的に集積するストックポイント等を11箇所整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>県森運による「システム販売」の推進</li> <li>ストックポイント等を5箇所整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>県森運による「システム販売」の推進</li> <li>ストックポイント等を5箇所整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>県森運による「システム販売」の推進</li> <li>ストックポイント等を5箇所整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>県森運による「システム販売」の推進</li> <li>ストックポイント等を5箇所整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>県森運による「システム販売」の推進</li> <li>ストックポイント等を5箇所整備</li> </ul>

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	コメント
ぎふの木で家づくり支援事業プロジェクト	<p>「ぎふの木で家づくり支援事業」の開始</p> <p>「ぎふの木で内装木質化支援事業」の開始</p> <p>「岐阜県木造住宅70バリエーション」の完成</p> <p>・38人認定</p>	<p>「ぎふの木で内装木質化支援事業」の開始</p> <p>・35人認定</p> <p>・2回開催(80社参加)</p> <p>「ぎふの木で家づくりコンカーム」の開催</p>	<p>「ぎふの木で内装木質化支援事業」の開始</p> <p>・37人認定</p> <p>・2回開催(72社参加)</p>	<p>・37人認定</p> <p>・2回開催(66社参加)</p>	<p>・29人認定</p> <p>・2回開催(59社参加)</p> <p>「ぎふの木づくりPR大作戦」の展開</p>	<p>・ぎふの木で家づくり支援事業1,053棟</p> <p>・ぎふの木で内装木質化支援事業38棟</p> <p>・ぎふの木で内装木質化支援事業267棟(新築タイプ)、37棟(増改築タイプ)</p> <p>・岐阜県木造住宅70バリエーションを延べ205人養成</p> <p>・「ビジネスミーティング」を11回開催(延べ346社参加)</p>
	<p>「産材住宅の建設促進</p> <p>「ぎふの木で家づくり支援事業」の開始</p>					
	<p>「産材住宅の建設促進</p> <p>「ぎふの木で家づくり支援事業」の開始</p>					
	<p>「産材住宅の建設促進</p> <p>「ぎふの木で家づくり支援事業」の開始</p>					
県民協働による森林づくりプロジェクト	<p>「岐阜県みどりの祭り」の開催</p> <p>・第37回岐阜県みどりの祭り(中津川市)で開催</p> <p>「ぎふ山の日フェスタ」の開催</p> <p>・第2回ぎふ山の日フェスタ(美濃市)で開催</p> <p>「森と木とのふれあいフェア」の開催</p> <p>企業との協働による森林づくり活動</p> <p>・4の企業等と協定締結</p> <p>「緑と水の子ども会」の発足</p> <p>・延べ68校で実施</p>	<p>「第38回岐阜県みどりの祭り」を大垣市で開催</p> <p>「第3回ぎふ山の日フェスタ」を美濃市で開催</p> <p>・4の企業等と協定締結</p> <p>(株)MAXとの間で森林環境教育の推進に関する協定を締結</p> <p>・延べ80校で実施</p> <p>「木育教室」の開催</p> <p>・「木育推進員」を5名養成</p> <p>・木育誌本「木育のいっしょ」を作成</p> <p>・18市町村で設立(うち新規6市町村)</p>	<p>「第39回岐阜県みどりの祭り」を敦上市で開催</p> <p>「第4回ぎふ山の日フェスタ」を美濃市で開催</p> <p>・3の企業等と協定締結</p> <p>・7バリエーション(株)との間で森林環境教育の推進に関する協定を締結</p> <p>・延べ90校で実施</p> <p>・木育教室を18回開催</p> <p>・20市町村で設立(うち新規2市町村)</p>	<p>「第40回岐阜県みどりの祭り」を土岐市で開催</p> <p>「ぎふ山の日フェスタ」を開催</p> <p>・2の企業等と協定締結</p> <p>・延べ101校で実施</p> <p>・木育教室を21回開催</p> <p>・23市町村で設立(うち新規3市町村)</p>	<p>「全国樹林祭5周年記念大会」を下呂市で開催</p> <p>「ぎふ山の日フェスタ2011」を岐阜市で開催</p> <p>・2の企業等と協定締結</p> <p>・延べ112の小・中学校、高等学校、特別支援学校で実施</p> <p>・木育教室を保育園・幼稚園等で延べ90回開催</p> <p>「市町村森林管理委員会」の設立</p> <p>・12市町村で設立(うち新規4市町村)</p>	<p>15の企業等と協定締結</p> <p>延べ112の小・中学校、高等学校、特別支援学校で実施</p> <p>木育教室を保育園・幼稚園等で延べ90回開催</p> <p>「市町村森林管理委員会」が27市町村で設置された(民有林カバー率は97%)</p>

## 1.岐阜地域 (岐阜市・各務原市・山県市・本巣市) 森林面積：59千ha、森林率：59.2%

間伐実施面積：877ha (対前年度比75%)  
治山事業：17箇所を実施 (着手率71.7%)  
林道開設：917m、作業道(路)開設：12,789m  
岐阜市のメンタルケア施設の木造化に助成した  
8校の小・中学校等で「緑と水の子ども会議」を開催した  
「ぎふの木で家づくり支援事業」に61棟の応募があった



けんさんの館(岐阜市)

## 2.西濃地域 (大垣市・海津市・養老町・垂井町・関ヶ原町) 森林面積：23千ha、森林率：41.0%

間伐実施面積：274ha (対前年度比69%)  
治山事業：10箇所を実施 (着手率64.2%)  
林道開設：332m、作業道(路)開設：4,254m  
ニホンジカの被害防除のためのテープ巻きを大垣市で実施した  
市町、林業事業者が5箇所を集約化実施計画を作成した  
「大垣市多良峡森林公園」(財)田口福寿会で植樹活動が行われた



植樹活動(大垣市)

## 3.揖斐地域 (揖斐川町・大野町・池田町) 森林面積：76千ha、森林率：86.2%

間伐実施面積：813ha (対前年度比152%)  
治山事業：21箇所を実施 (着手率79.7%)  
林道開設：211m、作業道(路)開設：13,066m  
大野町で「絆の森整備事業」により里山林を整備した  
揖斐川町の温泉施設に木質ペレットボイラーを導入した  
揖斐川町の小学校、大野町の保育園で木育教室を開催した



木質ペレットボイラー(揖斐川町)

## 4.中濃地域 (関市・美濃市) 森林面積：48千ha、森林率：80.8%

間伐実施面積：1,013ha (対前年度比68%)  
治山事業：14箇所を実施 (着手率64.7%)  
林道開設：428m、作業道(路)開設：11,461m  
10校の小・中学校で「緑と水の子ども会議」を開催した  
「中濃地域林建森づくり協議会」が設立された  
「コープぎふの森・関」で植樹活動が行われた



植樹活動(関市)

## 5.郡上地域 (郡上市) 森林面積：93千ha、森林率：89.8%

間伐実施面積：2,617ha (対前年度比85%)  
治山事業：27箇所を実施 (着手率54.4%)  
林道開設：2,284m、作業道(路)開設：25,282m  
高性能林業機械ハーベスタ1台の導入に支援をした  
郡上市において、集約化実施区域計画が30件認定された  
「施業プランナー」2名を養成した



集約化推進座談会(郡上市)

## 6.可茂地域 (美濃加茂市・可児市・坂祝町・富加町・川辺町・七宗町・八百津町・白川町・東白川村・御嵩町) 森林面積：61千ha、森林率：73.3%

間伐実施面積：1,248ha (対前年度比 92%)  
 治山事業：23箇所を実施 (着手率 49.5%)  
 林道開設：1,178m、作業道(路)開設：69,762m  
 「子供のための治山工事見学会」を白川町で開催した  
 温泉施設等、4つの公共施設の木造化・木質化に助成した  
 サントリー「天然水の森 ぎふ東白川」の協定を締結した



治山工事見学会 (白川町)

## 7.東濃地域 (多治見市・瑞浪市・土岐市) 森林面積：24千ha、森林率：63.6%

間伐実施面積：255ha (対前年度比 72%)  
 治山事業：5箇所を実施 (着手率 63.2%)  
 作業道(路)開設：5,319m  
 瑞浪市の公共施設の建設 (木造) に助成した  
 高性能林業機械の研修により6人の森林技術者を育成した  
 「土岐市森林づくり会議」が設立された



公共木造施設 (瑞浪市)

## 8.恵那地域 (中津川市・恵那市) 森林面積：93千ha、森林率：78.6%

間伐実施面積：1,796ha (対前年度比 73%)  
 治山事業：45箇所を実施 (着手率 78.6%)  
 林道開設：996m、作業道(路)開設：16,127m  
 産直住宅ツアー、現場見学会等の実施に助成した  
 生産森林組合・財産区等の施業集約化を支援した  
 震災復興用合板のため、森の合板工場へスギ材を中心に供給した



施業集約化 (中津川市)

## 9.下呂地域 (下呂市) 森林面積：78千ha、森林率：92.0%

間伐実施面積：1,058ha (対前年度比 58%)  
 治山事業：22箇所を実施 (着手率 59.7%)  
 林道開設：577m、作業道(路)開設：39,895m  
 下呂市において「里山砂防」に取り組んだ  
 下呂市森林集約化協議会が491haの森林境界明確化を実施した  
 乾燥機やグレーディングマシン等の導入に対して支援をした



グレーディングマシン (下呂市)

## 10.飛騨地域 (高山市・飛騨市・白川村) 森林面積：309千ha、森林率：92.8%

間伐実施面積：1,945ha (対前年度比 122%)  
 治山事業：22箇所を実施 (着手率 56.8%)  
 林道開設：400m、作業道(路)開設：61,655m  
 高山市の公民館の木造化に助成した  
 協定に基づき民国連携による森林整備を実施した  
 「ひだ森林整備協同組合」が設立された



宮谷～明ヶ谷線 (高山市)



地域ごとの実施状況一覧(H23年度)

単位	森林面積			森林率	間伐実施面積		間伐材利用量	針広混交林・複層林整備面積	山地災害危険地区数	山地災害危険地区治山工事着手率	松くい虫被害面積	カシノナガキクイムシ被害面積	クマ皮剥被害面積	路網整備		路網密度	高性能林業機械導入台数	森林技術者数	森林技術者数平均年齢	施業プランナーの育成数	ぎふの木で家づくり支援事業 (応募数/募集数) ※募集数の設定は県全体のみ	市町村森林管理委員会		緑のこども会議の実施校数	みどりの少年団の団数	企業との協働による森林づくり			
	千ha	千ha	千ha		実績 (ha/年)	対前年度 比(%)								m <sup>3</sup>	ha							ha	ha				ha	ha	ha
県全体	863	376	250	442	81	11,895	83	164,647	158	6,535	63.7	14	75	20	7,323	259,610	21.2	135	1,161	47	18,160	200	27	77	112	76	20		
岐阜	59	24	17	33	59	877	75	17,903	27	492	71.7	5	1	3	917	12,789	19.1	9	169	47	2	61	3	16	13	1	2		
西濃	23	10	7	12	41	274	69	1,491	0	229	64.2	0	1	0	332	4,254	16.9	0	27	49	1	6	5	12	0	11	8	2	
揖斐	76	22	19	50	86	813	152	3,282	10	379	79.7	0	0	0	211	13,966		10	54	45	2	4	3	4	10	10	8	2	
中濃	48	21	16	26	81	1,013	68	2,263	0	278	64.7	2	12	0	428	11,461	20.1	6	55	47	1	11	2	8	10	7	13	5	1
郡上	93	52	43	39	90	2,617	85	2,220	0	822	54.4	0	31	0	2,284	25,282		23	190	49	2	7	1	3	7	13	11	7	2
可茂	61	34	24	25	73	1,248	92	20,310	4	719	49.5	2	4	0	1,178	69,762	27.0	12	116	48	2	23	5	8	9	12	8	8	6
東濃	24	11	4	12	64	255	72	2,244	0	446	63.2	0	1	0	0	5,319	23.8	1	30	51	1	14	2	2	4	14	6	2	2
恵那	93	53	33	35	79	1,796	73	57,131	4	1,281	78.6	3	0	0	996	16,127		17	158	43	1	5	2	11	5	17	11	19	2
下呂	78	48	28	27	92	1,058	58	15,533	0	645	59.7	2	1	0	577	39,895	27.4	18	77	46	3	11	1	7	6	6	19	14	0
飛騨	309	99	57	182	93	1,945	122	42,270	113	1,244	56.8	0	24	17	400	61,655	19.7	39	285	48	3	18	3	6	9	13	7	1	

注意:4捨5入のため、圏域の合計が県全体の数値と一致しない場合があります

# 資料編 岐阜県の森林・林業を取り巻く現状

## 1 森林

### (1) 森林資源

県土面積	1,062 千 ha	全国第 7 位
森林面積 (国有林を含む)	866 千 ha	全国第 5 位
森林率 (県土面積に対する森林面積の割合)	82 %	全国第 2 位
民有林面積	685 千 ha	全国第 3 位
人工林面積 (国有林を含む)	387 千 ha	全国第 6 位
天然林面積 (国有林を含む)	436 千 ha	全国第 7 位

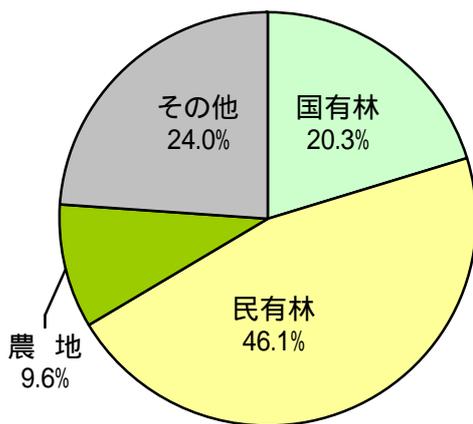
資料：林野庁計画課「森林資源の現況」(平成 19 年 3 月 31 日)

**人工林**：人為的に苗木を植栽することにより育てられた森林。スギやヒノキ等の針葉樹が中心。

**天然林**：更新に人の手が加えられていない森林、またはほとんど手が加えられず自然のままになっている森林。ブナ、ミズナラ、クリ、コナラ、カシ類等の広葉樹が中心。

- 岐阜県の森林面積は 863 千 ha(平成 23 年 3 月 31 日)と、県土面積の 81.2%を占めています。内訳は、国有林が 180 千 ha、民有林が 682 千 ha で、民有林は県土面積の 64.2%を占めています。全国に比べ民有林の割合が高く、民有林面積は平成 18 年度末現在で全国第 3 位です。

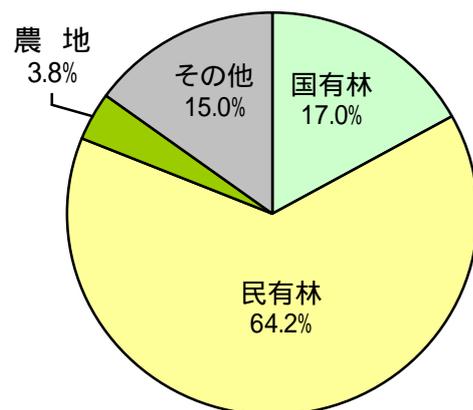
土地(面積割合:全国)



森林面積：25,097 千 ha (平成 18 年度)

資料：林野庁「森林資源の現況(平成 19 年 3 月 31 日)」  
農林水産省「2010 年世界農林業センサス」  
国土交通省 国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調(平成 23 年 10 月 1 日)」

土地(面積割合:岐阜県)

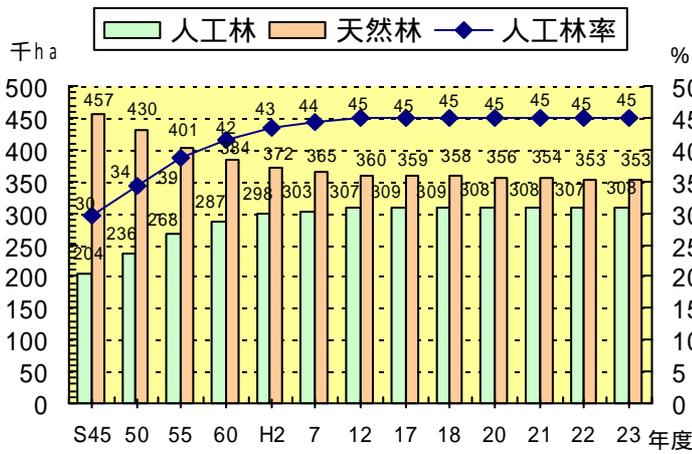


森林面積：863 千 ha (平成 23 年度)

資料：土地面積は県統計課「岐阜県統計書(平成 23 年)」  
国有林面積は中部森林管理局調べ  
民有林面積は県森林整備課調べ  
農地面積は農林水産省「2010 年世界農林業センサス」

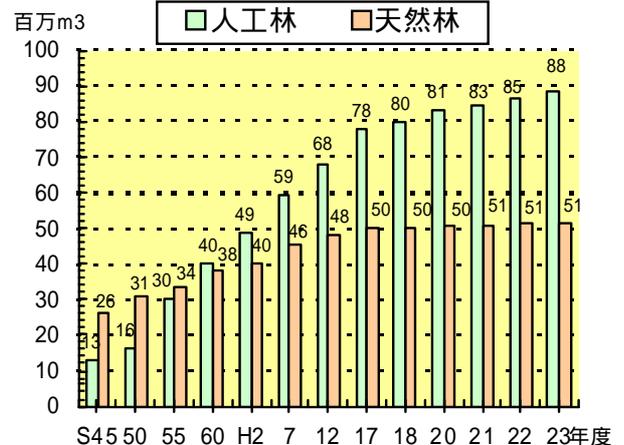
- ・ 森林蓄積は年々増加しており、民有林蓄積は 139,699 千 $m^3$ となっています。特に人工林蓄積が著しく増加しています。

### 民有林森林面積の推移



資料：県森林整備課調べ

### 民有林森林蓄積の推移



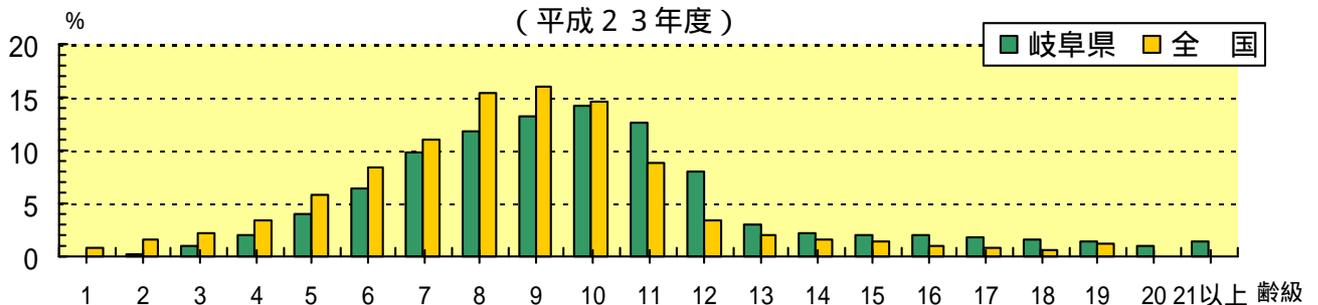
資料：県森林整備課調べ

- ・ 民有林人工林のうち 35 年生以下（7 齢級以下）の若・幼齢林の面積は 73 千 ha、全体の 24% を占めており、除間伐等の保育施業の実施が重要となっています。
- ・ また、造林補助事業による間伐の対象となる 11～35 年生の人工林面積は 72 千 ha で、民有林人工林の 23% を占めています。

民有林人工林面積 全国：7,971 千 ha 岐阜県：308 千 ha

### 民有林人工林齢級別面積分布(岐阜県)

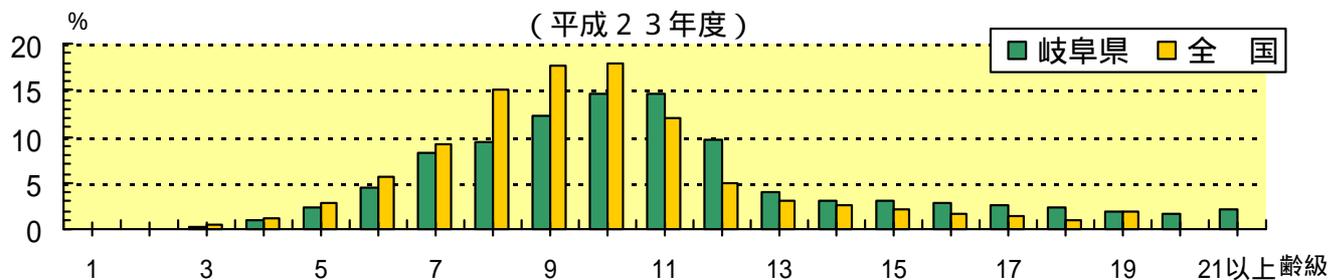
(平成 23 年度)



民有林人工林蓄積 全国：2,223 百万 $m^3$  岐阜県：88,220 千 $m^3$

### 民有林人工林齢級別蓄積分布(岐阜県)

(平成 23 年度)



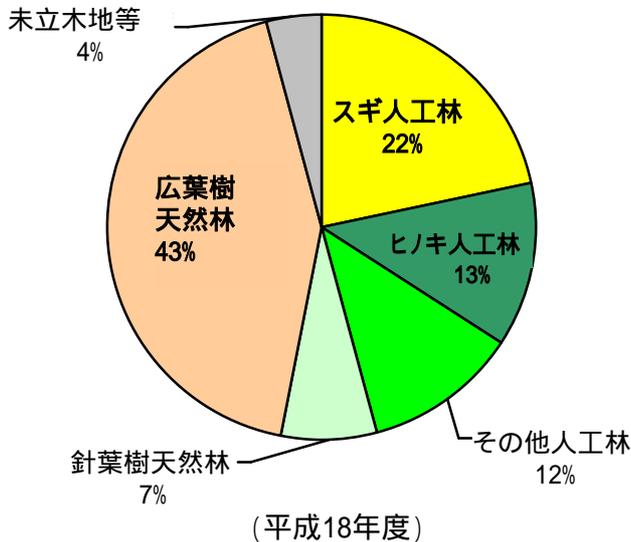
資料：全国数値は、林野庁「森林資源の現況(平成 19 年 3 月 31 日)」

県数値は、県森林整備課調べ

注：全国数値は 20 齢級以上の集計はしていない。

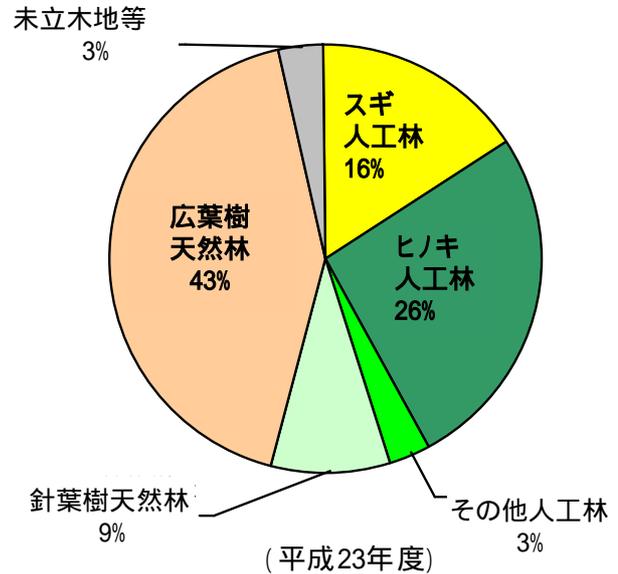
- ・ 民有林の樹種別面積をみると、ヒノキ人工林の割合が全国数値に比較して高くなっています。平成 18 年度末現在、本県のヒノキ人工林面積・蓄積は、高知県に次いで第 2 位となっています。

**民有林樹種別面積(全国)**



資料：林野庁「森林資源の現況(平成19年3月31日)」

**民有林樹種別面積(岐阜県)**

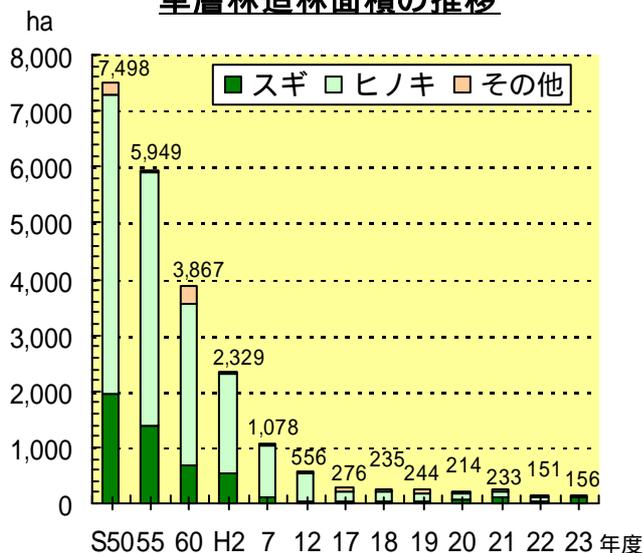


資料：県森林整備課調べ

**(2) 森林整備**

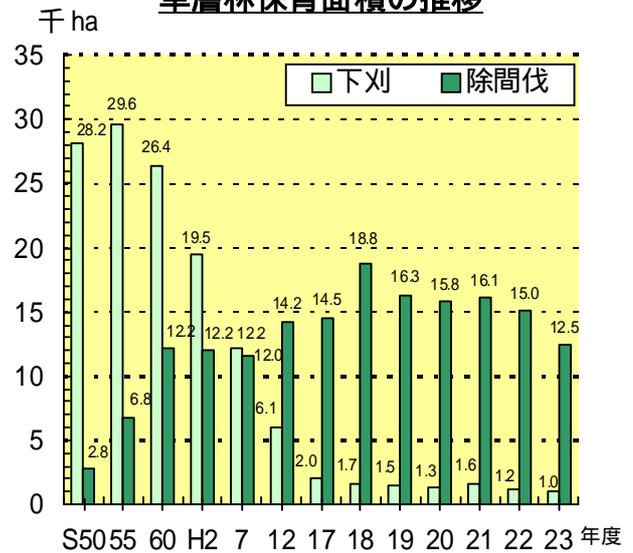
- ・ 単層林造林面積は昭和 50 年当時から減少傾向が続いています。平成 23 年度は 156ha (対前年度比 103%) であり、そのうちスギが 98ha と造林面積の 63% を占めています。

**単層林造林面積の推移**



資料：県森林整備課調べ

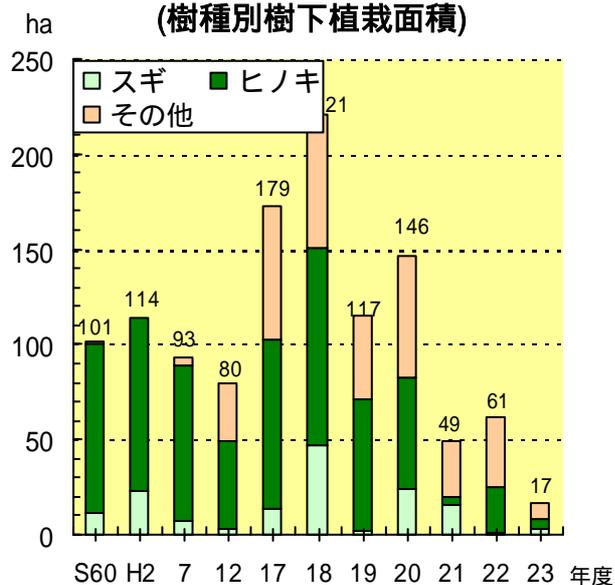
**単層林保育面積の推移**



資料：県森林整備課調べ

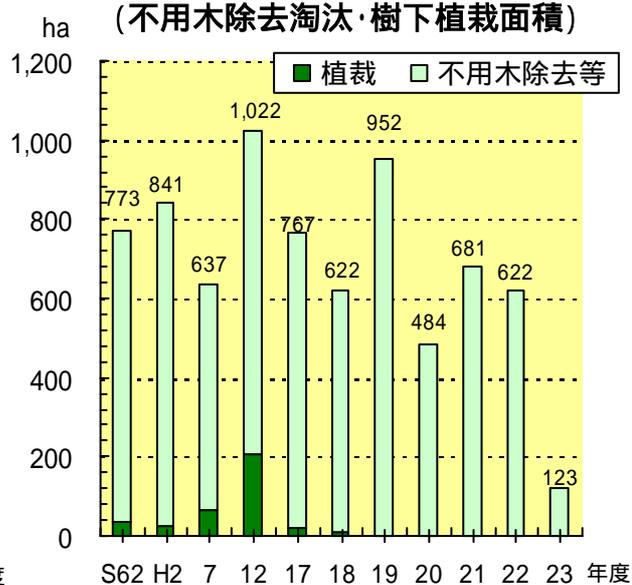
- ・ 下刈面積は昭和 55 年度以降減少傾向が続き、近年は 1 千 ha 台で推移しています。
- ・ 除間伐面積は、近年 16 千 ha 前後で推移していましたが、平成 23 年度は 13 千 ha (対前年度比 83%) と落ち込んでいます。

### 複層林整備(植栽型)面積の推移 (樹種別樹下植栽面積)



資料：県森林整備課調べ

### 育成複層林整備(天然更新型)面積の推移 (不用木除去淘汰・樹下植栽面積)



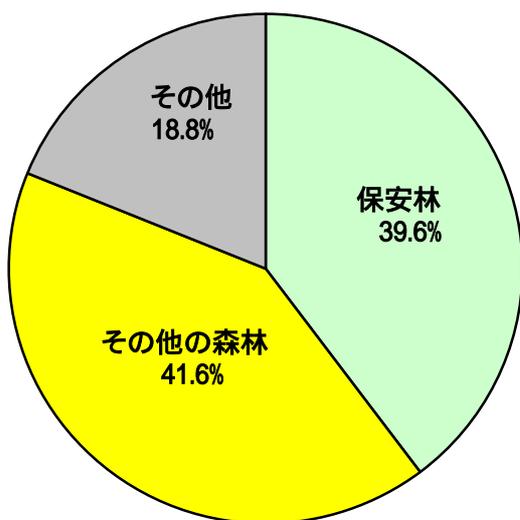
資料：県森林整備課調べ

### (3) 県土の保全

- ・ 保安林面積は平成 23 年度 420,496ha であり、そのうち民有保安林が 247,348ha、国有保安林が 173,148ha で、県土面積の 39.6%、森林面積の 48.8% を占めています
- ・ 保安林の 65.0% は、水資源の確保に重要な役割を果たしている水源かん養保安林で、続く 32.3% が土砂流出防備保安林となっています。

#### 県土面積に占める保安林の割合

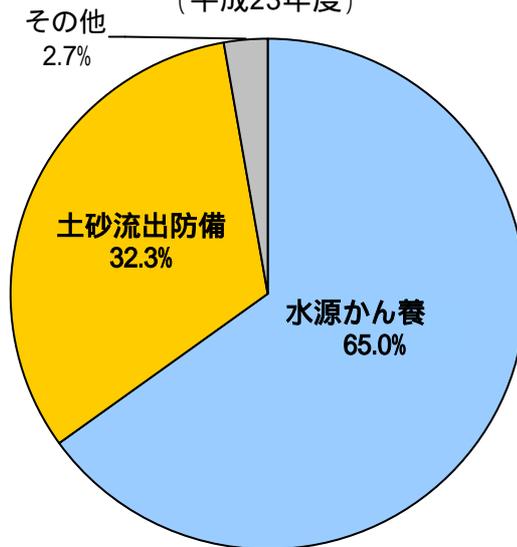
(平成23年度)



資料：県治山課調べ

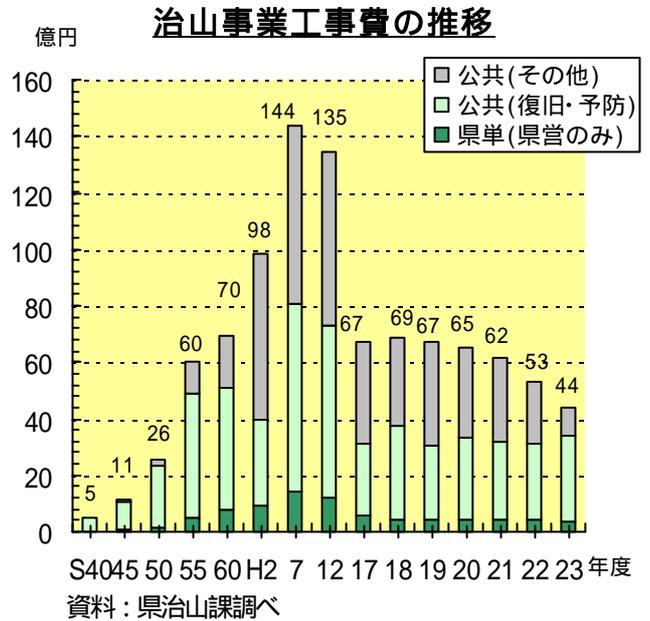
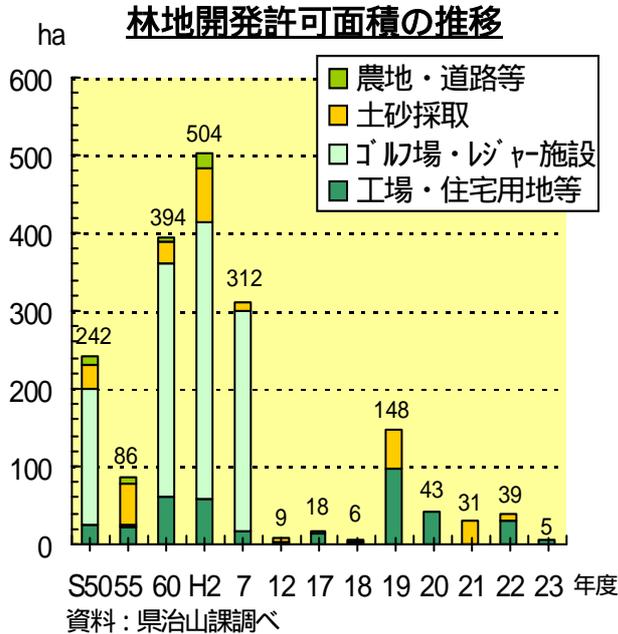
#### 保安林の種類別構成割合

(平成23年度)

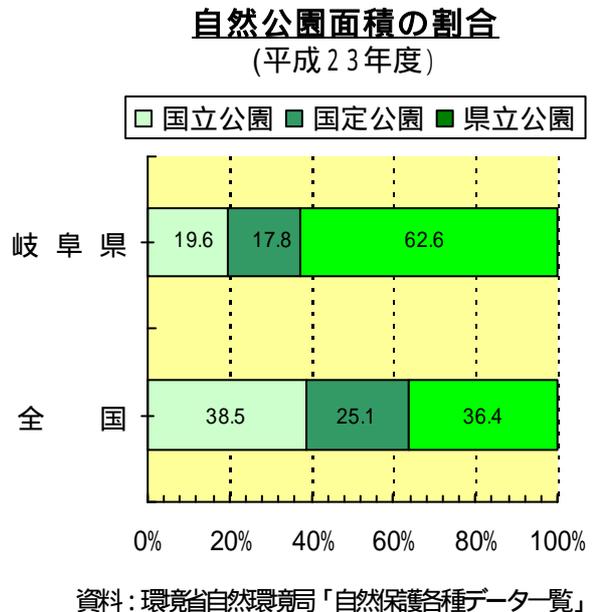
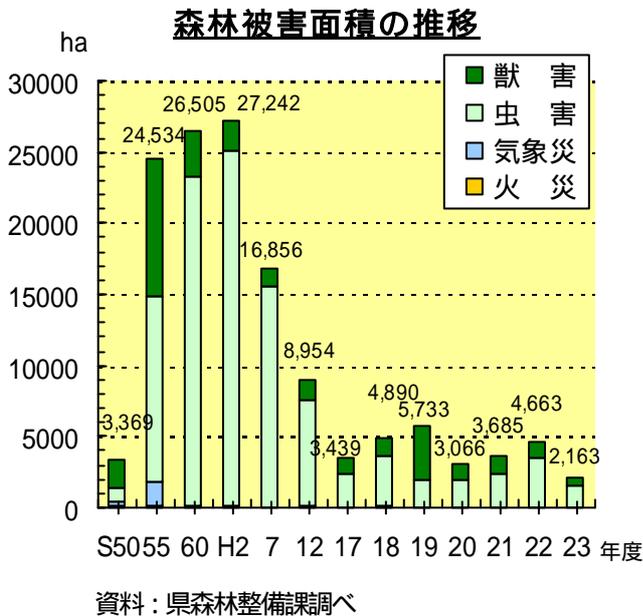


資料：県治山課調べ

- 平成 23 年度の林地開発許可件数及び面積は 3 件、5ha で、特に面積は前年度より大幅に減少し、林地開発行為許可制施行後、最も多かった平成 2 年度(504ha)と比べると 1%にとどまっています。
- 平成 23 年度の治山事業工事費 [ 公共・県単 ( 県営のみ ) ] は 43.6 億円で、対前年度比 81.7%と減少しています。



- 平成 23 年度の森林被害面積は 2,163ha で、対前年度比 46%に減少しました。森林被害面積のうち、2,159ha ( 構成比 99.8% ) が病虫害獣害によるものです。



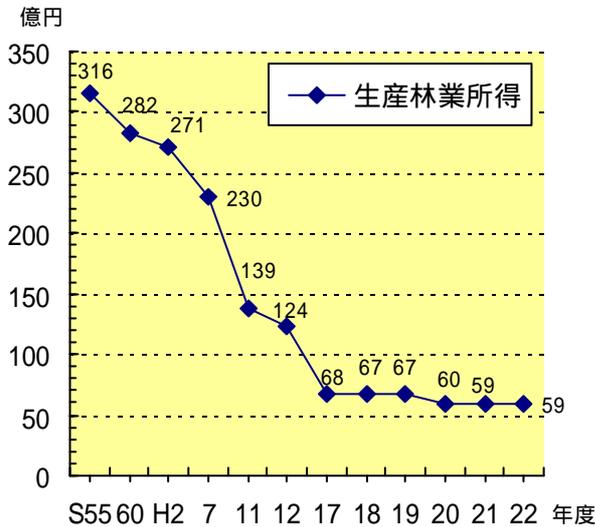
- 本県の自然公園面積は、県立公園の割合が 62.6%と全国平均の 36.4%に比べて高くなっています。

## 2 林業・木材産業

### (1) 林業経営

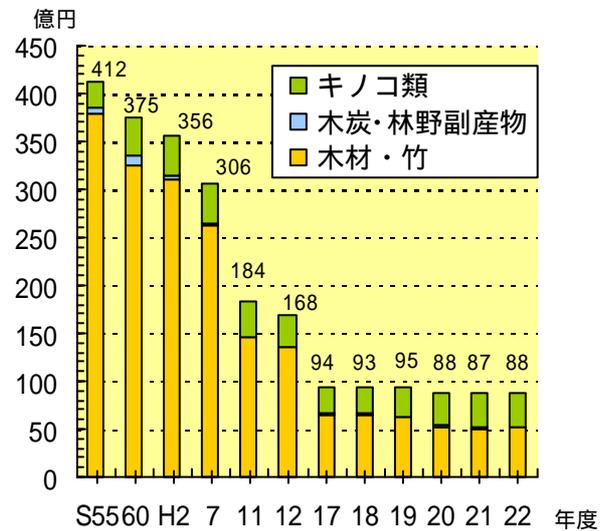
- 平成 22 年度の生産林業所得は 59 億円(対前年度比 100.2%)、林業産出額(林業粗生産額)は 88 億円(対前年度比 100.8%)、となっています。

生産林業所得の推移



資料：農林水産省「平成 22 年林業産出額」

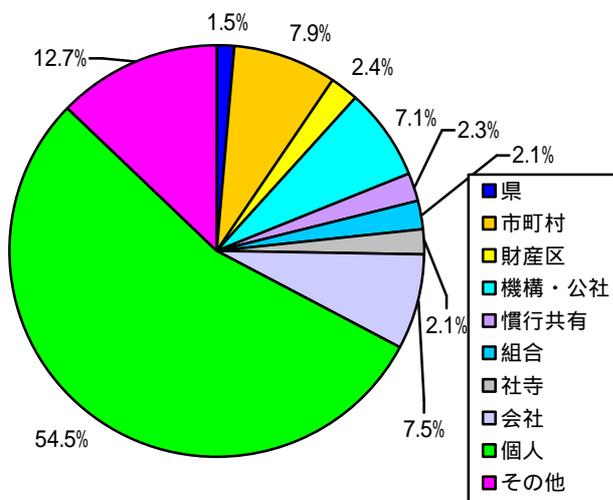
林業算出額(林業粗生産額)の推移



資料：農林水産省「平成 22 年林業産出額」

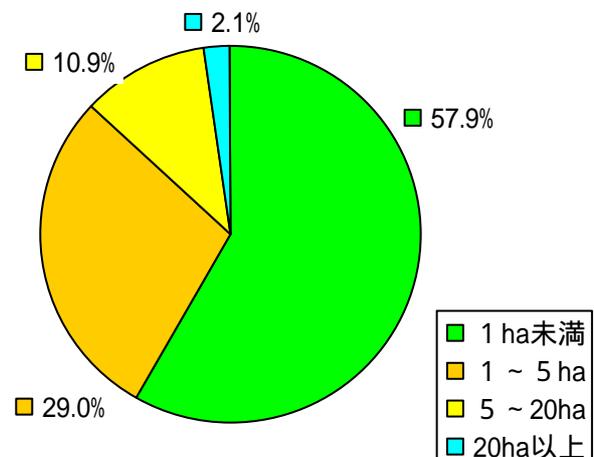
- 県下の民有林面積のうち私有林が 88.2%、公有林が 11.8%となっています。私有林の内訳は個人所有が最も多く、私有林全体の 61.7%を占めています。
- 個人所有の規模別体数をみると、所有面積 1 ha 未満が 57.9%を占め、1~5ha と合わせると全体の 86.9%が 5 ha 未満の零細な所有となっています。

所有形態別民有林面積の割合  
(平成23年度)



資料：県森林整備課調べ

個人所有林の所有規模別体数の割合  
(平成 23 年度)



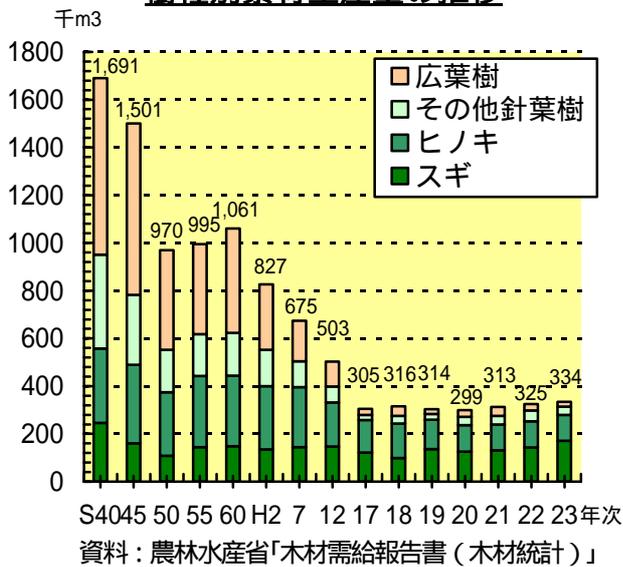
資料：県森林整備課調べ

注：地域森林計画対象内森林のみ集計

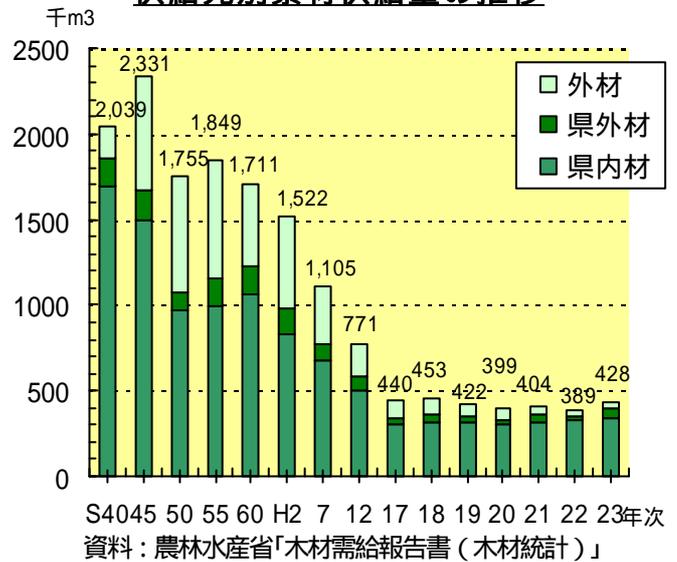
## (2) 木材生産・木材需要

- 平成 23 年の素材生産量は 334 千 m<sup>3</sup> で、前年より 9 千 m<sup>3</sup> 増加しました。
- 樹種別では、スギが最も多く生産されており 171 千 m<sup>3</sup> (構成比 51%) となりました。
- 平成 23 年の素材の供給量は 428 千 m<sup>3</sup> で、前年より 39 千 m<sup>3</sup> 増加しました。このうち県内材の供給量は 334 千 m<sup>3</sup> で全体の 78% を占めています。
- 平成 23 年の素材の需要量は 428 千 m<sup>3</sup> で、そのうち製材用の割合が 56% と最も高くなっています。
- 平成 23 年度の新設住宅着工戸数は 10,630 戸で、前年度に比べて 531 戸減少しました。木造率は 76.1% と前年度に比べて 1.7% 増加しています。

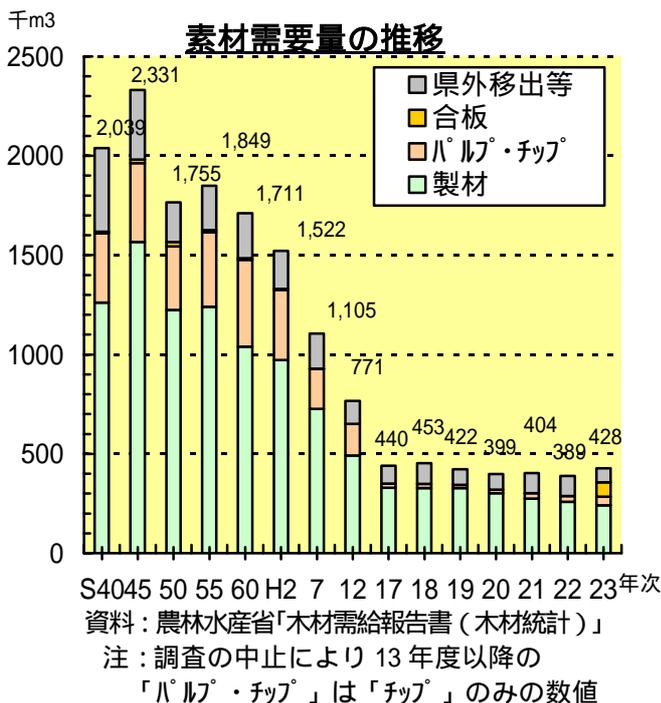
### 樹種別素材生産量の推移



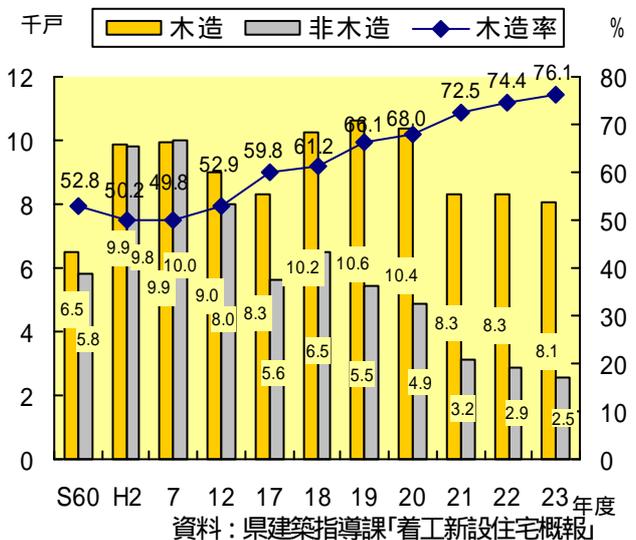
### 供給元別素材供給量の推移



### 素材需要量の推移



### 新設住宅着工戸数と木造率の推移



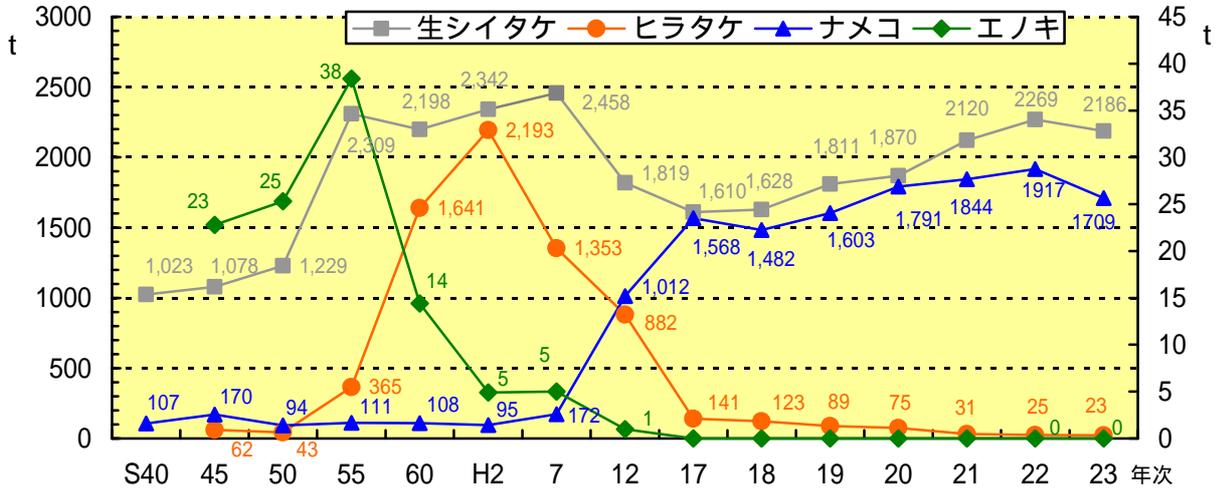
### (3) 特用林産物

- 平成 23 年のキノコ類の生産量は、「生シイタケ」は 2,186t で対前年比 96.3%、「ナメコ」は 1,709t で対前年比 89.1%となっています。

#### キノコ類生産量の推移

(生シイタケ・ヒラタケ・ナメコ)

(エノキ)

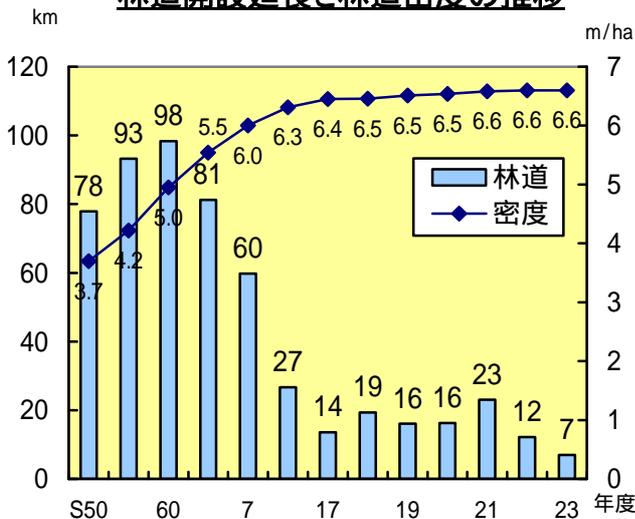


資料：県森林整備課調べ

### (4) 林道・作業道

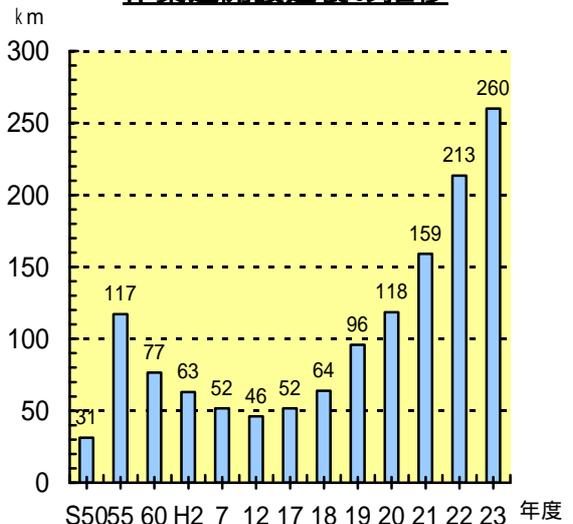
- 平成 23 年度の林道（自動車道と軽車道の計）開設延長は 7.3km で、対前年度比 59.8% と大幅に減少しています。総延長は 4,498km、2,051 路線となっています。また民有林林道密度（自動車道と軽車道の計）は、6.6m/ha となっています。
- 作業道の開設は、造林補助事業、路網整備地域連携モデル事業等で実施されており、平成 23 年度の開設延長は 260km で、対前年度比 121.6% と前年度を上回っています。

#### 林道開設延長と林道密度の推移



資料：県森林整備課調べ

#### 作業道開設延長の推移

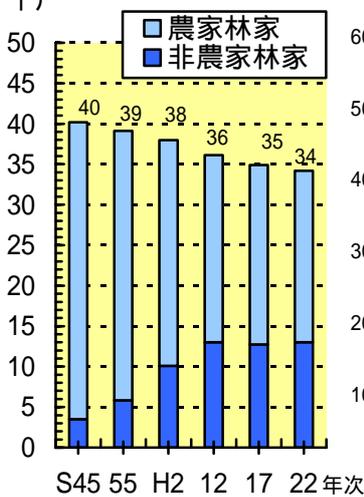


資料：県森林整備課調べ

### (5) 林業労働力・林業機械

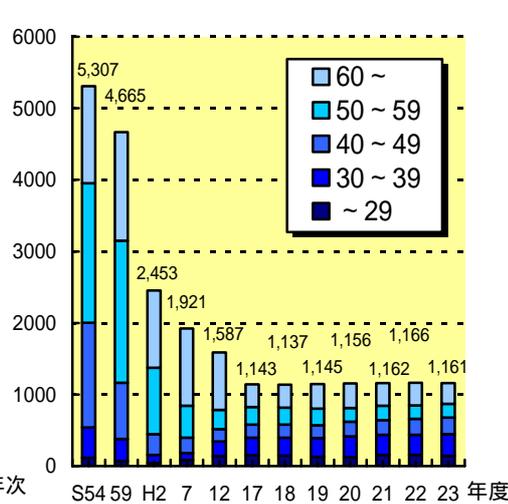
- ・ 林家（保有山林 1ha 以上）戸数は減少傾向にあります。平成 22 年は平成 17 年調査に比べ、農家林家数は 957 戸(4%) 減少、非農家林家数は 276 戸(2%) 増加となっています。
- ・ 平成 23 年度の森林技術者数は 1,161 人で、前年度を若干下回っています（対前年度比 99.6%）。
- ・ 平成 23 年度の森林組合の作業班員は 661 人で、前年度に比べて 2 人減少しました。
- ・ 生産性の向上、労働環境の改善等の効果が期待される高性能林業機械は、平成 5 年に導入されて以来年々増加し、平成 23 年度には県下で 135 台となっています。

千戸 **林家戸数の推移**



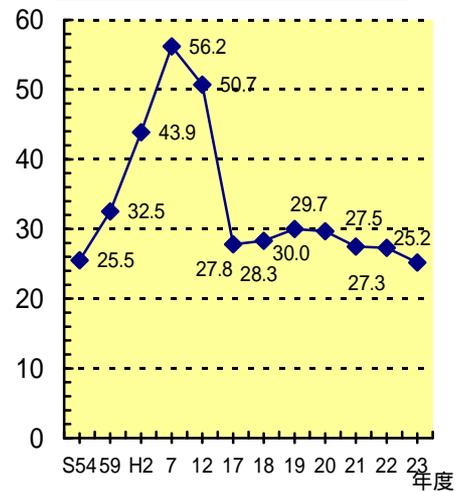
資料：農林水産省東海農政局調べ

人 **年齢別森林技術者の推移**



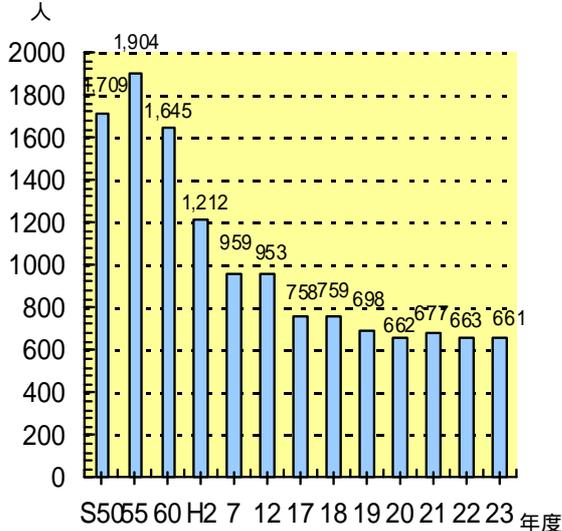
資料：県森林整備課調べ

60才以上の  
% **森林技術者の割合の推移**



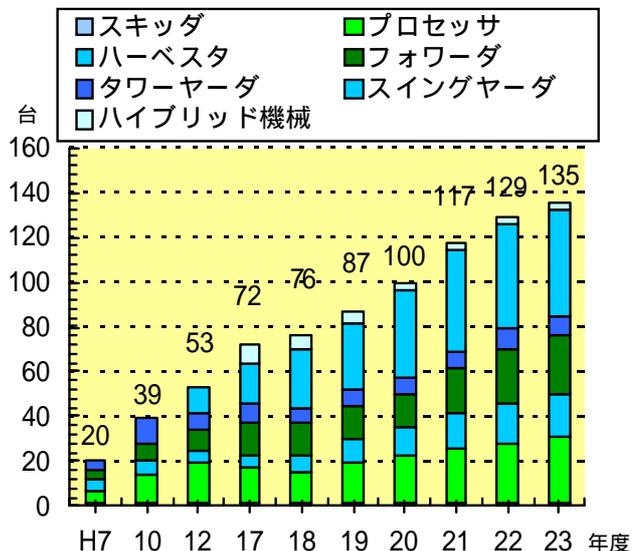
資料：県森林整備課調べ

人 **森林組合作業班員数の推移**



資料：県森林整備課調べ

台 **高性能林業機械数の推移**



資料：県産材流通課調べ

### 3 森林の多面的機能の評価額

森林の多面的機能の評価額・・・森林は私たちの生活に欠くことのできない様々な働きを持っています。

森林が持つさまざまな機能をお金に換算し評価（試算）すると、下表のとおりです。

（単位：億円）

機能の種類	全国 評価	岐阜県 評価	全国比 (%)	説明	試算方法
二酸化炭素吸収	12,391	471	3.8	温暖化の原因である二酸化炭素を吸収する機能	木質バイオマスの増量から森林の二酸化炭素吸収量を算出し、火力発電所における科学的湿式吸着法による二酸化炭素回収コストで代替し評価
化石燃料代替	2,261	42	1.9	木材を使うことで二酸化炭素の放出を抑制する機能	現在の木造住宅がすべてRC造、鉄骨プレハブで建設された場合に増加する炭素放出量を算定し、これを火力発電所科学的湿式吸着法による二酸化炭素回収コストで代替し評価
表面浸食防止	282,565	6,739	2.4	下草や落枝落葉に覆われていることにより地表の浸食を抑制する機能	有林地と無林地における土砂の年間浸食深の差と森林面積により、森林地域全体の浸食土砂量の差を森林による浸食防止量とし、これを砂防えん堤で代替
表層崩壊防止	84,421	2,914	3.5	森林の樹木が地中に深く根を張り巡らすことによって土砂の崩壊を防ぐ機能	有林地と無林地における崩壊面積の差から森林による崩壊軽減面積を推定し、これを山腹工事費用で代替
洪水緩和	64,686	2,493	3.9	森林の土壌が、雨水を貯留し、河川へ流れ込む水の量を平準化して洪水を緩和する機能	直接流出量（洪水流量）を軽減し、豪雨時のピーク流量を低下させる森林の機能を洪水防止機能として評価することとし、森林と裸地の比較において流量調節量を算定し、これを治水ダムで代替
水資源貯留	87,407	4,110	4.7	森林の土壌はスポンジのように隙間がたくさんある構造になっており、この隙間に水を蓄える機能	森林地帯への降水量から樹冠による遮断、樹木による蒸散を差し引いて算定し、これを利水ダムで代替
水質浄化	146,361	5,665	3.9	雨水が森林土壌を通過することにより、水質が浄化される機能	「水資源貯留機能」で試算した地形要因を加味しない流域貯留量のうち、生活用水として利用されている量相当分を水道料金で代替、その他を雨水利用施設で代替
保健休養	22,546	775	3.4	樹木がフィトンチッドに代表される揮発性物質を出すことで、人に対し直接的な健康増進効果を与える機能。また、行楽やスポーツの場を提供する機能	(社)日本観光協会「観光の実体と志向」(平成10年9月調査)をもとに、自然風景をみることを目的とした旅行費用から算定
合計	702,638	23,209	3.3	<b>県民1人あたり：約110万円</b> <b>森林1haあたり：約270万円</b>	

<参考>	全国 (千ha)	岐阜県 (千ha)	全国比 (%)		
森林面積	25,121	866	3.4		

注：日本学術会議答申「地球環境・人間生活にかかわる農業及び森林の多面的な機能の評価について」(平成13年11月1日)

及び国答申に基づく岐阜県の試算による。岐阜県の試算は平成13年度データに基づく。